

Press Release

2022年12月2日

報道機関各位



武庫川女子大学  
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

## 武庫川女子大学の経営学部学生が 消費者トラブル防止啓発グッズを開発 兵庫県内の高校3年生約4万3000人に配布へ

武庫川女子大学経営学部が兵庫県と連携し、消費者トラブル防止を呼び掛けるグッズを製作しました。「相手の意図を見透かそう」というスローガンにちなんだ「半透明の透ける付箋」。台紙にはスローガンとともに「消費者ホットライン」の電話番号「188」を記載しました。裏面には消費者トラブルを回避するためのシミュレーションゲームにアクセスできるQRコードも掲載しています。12月5日以降、県内の高校と特別支援学校（高等部）約250校の高校3年生約4万3000人に配布します。

令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、高校生でも18歳であれば保護者の同意なしに様々な契約ができるようになりました。経験の乏しい高校生が悪質商法の被害にあわないよう、またもしもの際は、すぐに消費者ホットラインに相談することを意識付けようと兵庫県が、武庫川女子大学に「高校生に活用してもらえるグッズの考案」を呼びかけました。

経営学部がこれにこたえ、「兵庫県と取り組む『消費者トラブル防止・啓発グッズ』開発プロジェクト」として実践学習を設定。12人の学生が6月から活動に取り組んできました。学生たちは学内でのアンケート調査や高校生へのアンケート結果などを元にグッズを検討。県と何度も打ち合わせを重ね、「高校生が日常よく使う文房具なら、自然に手に取って身近に置いてもらえるはず」と、付箋グッズを選びました。「透ける用紙」を採用したのは、「相手の意図を見透かそう」というスローガンと、学生たちが大学受験時代を思い出し、勉強の際に図の書きしや参考書の上から書き込みができるように、という工夫によるものです。また、SDGsやエシカルな消費を意識して、素材を紙にすることもこだわりました。

啓発グッズ 紙製付箋（正方形、半透明）  
 表面：消費者ホットライン「188」  
 スローガン「相手の意図を見透かそう」  
 裏面：消費者ホットラインへ相談する場面を  
 例示し積極的な相談を啓発  
 本年度開発の消費者トラブル回避  
 シミュレーションゲームを紹介



参考書や書類に貼って付箋の上から書くことで、書籍などに直接書き込む必要がない。



複雑な図やイラストなどの書き写しができる。

この件に関するお問い合わせは  
 広報室 Tel 0798-45-3533  
 メール kohos@mukogawa-u.ac.jp  
 へお願いします

## 【参考】



最終提案会の様子



学生と県の皆さんとの集合写真

### 【経営学部 特別プログラム 実践学習について】

学内外の企業や団体にご協力いただき、学生に貴重な学びの機会を体系的に提供する学部必修の科目です。3分野（インターンシップ、サービスマーケティング、フィールドワーク）の実践学習科目を用意しており、学生たちは卒業までに合計4つのプロジェクトやプログラムに参加し、企業や組織、団体と連携した実践的な学びを行います。

インターンシップ…企業、官公庁、非営利組織などでの就業体験を通じて、実社会での課題解決に取り組みます。

サービスマーケティング…地域のボランティア活動に参加し、協働を通じて新しい視点を得ながら、多様な課題解決を経験します。

フィールドワーク…観察や聞き取り、アンケート調査などを通じてデータ収集を行います。

年間で約80ものプロジェクトやプログラムが動いており、他大学ではほとんど見られない数の多さとテーマも多様になっています。

大きな特徴としては、企業以外にも地方自治体や非営利団体での経験ができることと、市場調査や企画、仕組み作りなどの業務に深く参画できることです。インターンにありがちな「お手伝い感覚」とは異なり、自主的な行動や思考を必要とする能動的な学習方法がベースとなっています。さらに、実践学習センターを設立し、目指すキャリアに応じて「実践学習」を体系的な学びとするためのサポートを行っています。